



きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第52号」2012年1月

日本医療機能評価機構認定病院 九州中央病院

〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540

謹賀新年



基本理念 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

| | | |
|-------------|-----------------|-----------------------------|
| 基本方針 | Progressiveness | 常に向上心を持ち何事にも積極的に、前向きに対処する |
| | Hospitality | 医療される方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う |
| | Superiority | 質の高い、高度な医療を目指す |
| | Rationality | 合理的で、無駄のない医療、および医療経営を行う |

目次

| | | | |
|------------------------|---|-------------|----|
| Medical Information | 2 | 栄養管理室よりお知らせ | 8 |
| 放射線科よりお知らせ | 4 | 看護部よりお知らせ | 9 |
| 地域医療連携室・相談支援センターよりお知らせ | 5 | クリスマスコンサート | 10 |
| 登録医紹介 | 6 | 南警察署よりお知らせ | 11 |
| 連携病院紹介 | 7 | 外来診療担当医表 | 12 |

Medical Information.



腎臓内科新設について

腎臓内科医 水政 透

はじめに

平成23年10月1日より腎臓内科医として赴任した水政透です。今まで九州中央病院に腎臓内科医はおらず、新しく開設する運びとなりました。腎臓内科と泌尿器科はよく混同されがちです。我々が扱う疾患としては、検尿異常、腎炎、腎性急性腎不全、慢性腎不全、透析療法が挙げられます。また、近年では慢性腎臓病（Chronic kidney disease：CKD）という概念が提唱され、本邦でも浸透してきています。これらに関して簡単に紹介いたします。

I. 検尿異常

尿蛋白、潜血が陽性の場合、それが異常であるかの判断が必要となります。尿潜血より尿蛋白が陽性であるほうが、将来的に腎機能障害をきたす可能性が高くなることが報告されています（図1）。一般的に発熱、激しい運動をした後などには尿蛋白が陽性となる場合があります、生理的なもので異常ではありません（良性蛋白尿といえます）。早朝起床時の中間尿で尿蛋白、潜血が陽性である場合、異常と判断します。

II. 腎炎

腎炎には急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎があり、さらに慢性糸球体腎炎には様々な型があります。また、全身性エリテマトーデスに合併するループス腎炎のように、2次性腎炎と呼ばれる全身の病気の一部症として発症するものもあります。一部の特殊な腎炎（例：間質性腎炎）を除いて、基本的に蛋白尿、潜血尿が必発であり、確定診断には組織検査、とりわけ腎生検が必要です。

III. 急性腎不全

原因の代表的なものとして、薬剤（抗生物質、NSAIDs、造影剤）、脱水などがありますが、急速進

行性糸球体腎炎やコレステロール塞栓症など、高齢化社会を反映した疾患も増加している印象があります。いつまでが腎機能が正常で、どれくらいの速度で腎機能障害が進行しているかが重要となります。すなわち、病歴が診断の要となります。

IV. 慢性腎不全、慢性腎臓病（CKD）

腎臓の機能が徐々に進行性に低下していく状態を慢性腎不全と言います。それが進行し、尿毒症が出現して、腎代替療法を施行しないと死へといたる状態を末期腎不全と呼びます。末期腎不全の原疾患としては糖尿病が最も多く、次に慢性糸球体腎炎、腎硬化症（動脈硬化）と続きます（図2）。食事療法と降圧療法が主体で、塩分・蛋白制限、血圧130/80mmHg以下に保つことが重要です。

近年、腎不全の前段階からの管理が重要であることから、慢性腎臓病（CKD）という概念が提唱されています（診断名ではありません）（図3、4）。本邦の疫学調査では、概算糸球体濾過率（eGFR）60ml/分/1.73m²の成人人口は1098万人で、50ml/分/1.73m²未満では317万人、これに加え尿蛋白陽性患者が274万人存在します。すなわち、600万人がCKD患者です（図5）。いっぽう、腎臓専門医は3000名程度しかおらず、腎臓専門医だけでCKD患者を管理することは不可能で、病診連携が重要となります。そこで、日本腎臓学会が提唱している病診連携システム案があります（図6、7）。今後、当院でも確立していくべき重要項目の一つです。

V. 透析療法

末期腎不全にいたった場合、腎臓の代わりにする治療、すなわち腎代替療法が必要となります。腎代替療法には腹膜透析、血液透析（通院、在宅）、腎移植（生体、献腎）があります。近年では、「包括的腎代替療法」という概念が提唱されています（図8）。自分の腎臓だけでは体の恒常性が保てないため腎代替療法を開始するのですが、開始後も残腎機能が長く保持された患者の生命予後がいいことが分かっています。腹膜透析のほうが、残腎機能が保持されや

すいという利点を生かし、末期腎不全にいたった時に、まず腹膜透析を行い、残腎機能が低下した時点で血液透析や腎移植へと移行するという、組み合わせの治療を行うことにより生命予後を改善しようという取り組みです。当院でもこの概念をもとに、透析療法を行っていきたいと考えています。

おわりに

腎臓内科で治療を行う疾患についてご紹介させていただきました。平成24年2月には透析室が完成し、血液透析・腹膜透析が可能になります。腎生検に関しては、まだマンパワーの問題があり施行できませんが、近日中に開始できるよう努力していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。

図 1

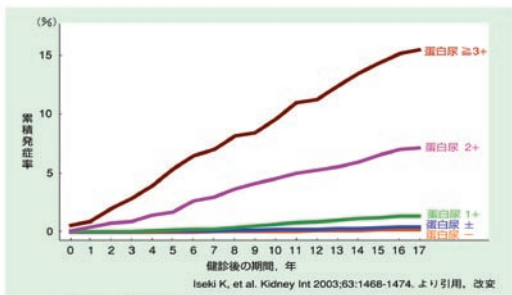


図 2

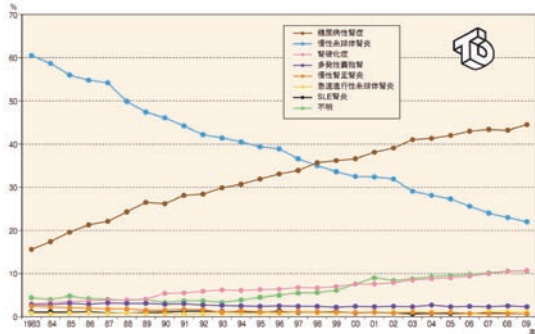


図 3

Chronic Kidney Disease (慢性腎臓病:CKD)

- 腎障害* がある状態
- 糸球体濾過量の低下 (60未満)
- 3ヶ月以上の持続

*腎障害: 形態的異常、血液検査や尿検査の異常……

Am J Kidney Dis 42 (Suppl), 2002

図 4

表3 CKDのステージ分類

| 病期ステージ | 単年度の説明 | 進行度による分類 GFR mL/min/1.73m ² |
|--------|-----------------------|--|
| | ハイリスク群 | ≥90 (CKDのリスクファクターを有する状態) |
| 1 | 腎障害は存在するが、GFRは正常または亢進 | ≥90 |
| 2 | 腎障害が存在し、GFR軽度低下 | 60~89 |
| 3 | GFR中等度低下 | 30~59 |
| 4 | GFR高度低下 | 15~29 |
| 5 | 腎不全 | <15 |

透析患者 (血液透析、腹膜透析) の場合にはD、移植患者の場合にはTをつける。

図 5

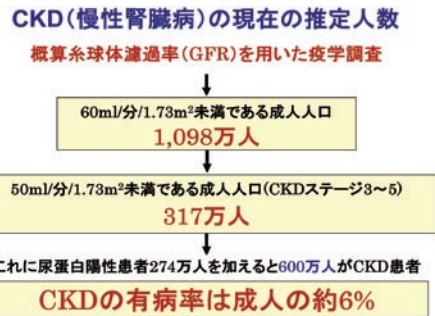


図 6

CKDの診療連携システム案

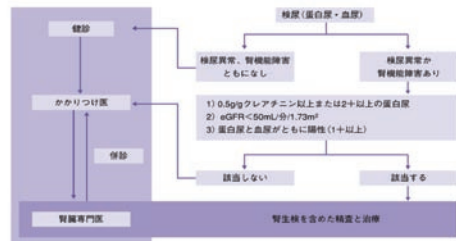


図 7

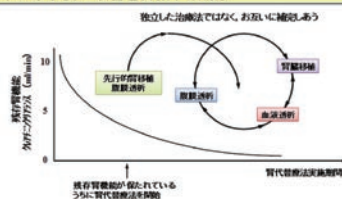
CKDのステージ分類ごとによる腎臓専門医と非専門医との併診の方法

| 腎臓障害の程度 | 併診の方法 |
|---------|--|
| CKD 1~2 | かかりつけ医での診療と、6~12ヵ月ごとの腎臓専門医での評価を行う。 |
| CKD3 | かかりつけ医と腎臓専門医の併診とし、3~6ヵ月ごとに専門医で評価する。 |
| CKD4~5 | 腎臓専門医での診療とし、専門医は腎代替療法の説明・選択と、アクセスの作成を検討する。 |

図 8

包括的腎代替療法

腹膜透析の残腎機能が残存しやすい特徴を生かし、末期腎不全となった時に、まず腹膜透析を施行し、尿量の低下・透析不足・腹膜透析特有の合併症が出現した際に血液透析へ移行する。また、これに腎移植を適宜行うことにより、生命予後の改善を目指す治療。



128スライスCT稼動開始!

新しい画像診断機器として、9月22日より、128スライスCTを運用しています。

新規CTは、これまでの6スライスCTの約10倍のX線検出器を備えています。

そのため、現在この機器をフルに活用することにより、CT検査を行う上での大きなメリットが現れています。



1 息止め時間が、従来検査と比較して大幅に短縮されました。

→ 短い息止めで、楽な検査となっています。

息止め時間の一例

| 検査部位 | 従来 | 新規 |
|---------|------|-----|
| 胸部 | 約20秒 | 約4秒 |
| 上腹部～骨盤部 | 約24秒 | 約6秒 |

2 心臓冠動脈CT検査が出来るようになりました。

当院でこれまで描出することの出来なかった心臓冠動脈を、CT画像として作成できる検査が可能となりました。1回8秒程の息止めで、心臓冠動脈検査が行えるようになりました。(適応可の方のみ。)専用の画像3D作成装置を使用し、心臓冠動脈の診断(血管の狭窄の有無、石灰化の度合い等)が可能となりました。現在は毎週火、木曜日の午後に1例ずつ行なっています。



3 様々な断面の画像が、作成可能となりました。

これまでより薄いスライスの画像を基にして、様々な断面の画像を作成出来る様になり、より質の高い画像診断がなされるようになりました。



これまででない新しい画像を提供できています。皆様のCT検査への御要望に十分に答えるべく、新しいCTの技術を駆使して、安全で、より詳しくより画質の良い検査となるように担当技師は日々研鑽を重ねています。

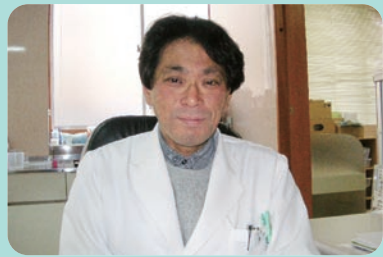
御質問等ございましたら、いつでも担当者にお尋ね下さい。

医療技術部 放射線技術科 CT 担当

登録医療機関一覧 No.1 (福岡市南区)

| | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 青見医院 | 椎名マタニティクリニック | 原クリニック |
| あそうクリニック | しまだハートクリニック | 原内科・放射線科医院 |
| 安藤レディースクリニック | しみずクリニック | 原病院 |
| 石井歯科医院 | 清水歯科医院 | 原村メンタルクリニック |
| イースタンクリニック 野間医院 | 城島整形外科医院 | 東原クリニック |
| 井上内科小児科医院 | 白浜病院 | ひのでクリニック |
| 今泉歯科医院 | しらべ耳鼻咽喉科医院 | ひめの胃腸内科クリニック |
| いまだ内科医院 | 菅原内科医院 | 姫野治子内科クリニック |
| 今村矯正歯科 | すみい婦人科クリニック | 兵動クリニック |
| 上田整形外科・外科医院 | たかた内科医院 | 福泉歯科医院 |
| 上田内科医院 | 高山胃腸科内科医院 | 福岡保養院 |
| 楳木医院 | 田口外科クリニック | 福田皮ふ科野間四ツ角クリニック |
| うめ野消化器・肛門科・外科クリニック | 匠歯科クリニック | 藤田整形外科医院 |
| 浦門整形外科医院 | 武井耳鼻咽喉科アレルギー科医院 | 船津クリニック |
| うらた整形外科クリニック | 竹内皮膚泌尿器科医院 | 松尾内科医院 |
| おおがみ歯科医院 | 竹本整形外科・眼科クリニック | 松岡内科胃腸科クリニック |
| おおた内科消化器科クリニック | たけや内科胃腸科医院 | 松田整形外科 |
| おはらクリニック | 田代医院 | 松田脳神経外科クリニック |
| 大森整形外科医院 | 田中医院 | 松本皮ふ科・形成外科医院 |
| おがた内科・こどもクリニック | 田中産婦人科クリニック | 水田ひふ科クリニック |
| 岡本医院 | 筑紫診療所 | 南昌江内科クリニック |
| 岡本内科胃腸科医院 | つきやま歯科医院 | 宮原産婦人科医院 |
| 沖歯科医院 | 寺沢病院 | 村岡産婦人科医院 |
| 小田辺内科医院 | 徳永内科医院 | 村山循環器科内科医院 |
| かじクリニック | 中尾診療所 | 夫婦石病院 |
| 華笑クリニック | 長丘五丁目クリニック | 望月眼科 |
| かなざわクリニック | 那珂川病院 | ものわずれメンタルクリニック |
| かめい内科クリニック | 長沢医院 | 桃崎レディースクリニック |
| 木下内科・循環器科医院 | 長住医院 | 森永外科医院 |
| 木村専太郎クリニック | 中間眼科医院 | もりや耳鼻咽喉科 |
| 木村耳鼻咽喉科医院 | 中村病院 | 矢田部内科循環器科医院 |
| くがクリニック | 南島整形外科 | やの内科胃腸科クリニック |
| くすの木クリニック | 成富整形外科クリニック | 宮崎内科医院 |
| 楠原皮膚科医院 | なんぶ内科胃腸科クリニック | 山口眼科医院 |
| 久保整形外科医院 | 西岡病院 | 山崎内科クリニック |
| クボタ歯科診療所 | 西田内科・消化器科医院 | 山下整形外科医院 |
| 元気が湧くこどもの歯科 | 西村内科医院 | 山田耳鼻咽喉科医院 |
| こうだ内科クリニック | 野上耳鼻咽喉科医院 | ユニタ整形外科・形成外科クリニック |
| ごうだ神経内科医院 | 野口整形外科・外科医院 | 吉永脳神経外科クリニック |
| 小林内科小児科医院 | 野口内科クリニック | 吉永デンタルクリニック |
| 近藤整形クリニック | のだ皮膚科・アレルギー科クリニック | よしなり内科クリニック |
| 佐伯医院 | のみやま内科医院 | ラ・グランメールすどうクリニック |
| ささぐり内科循環器科クリニック | 馬場外科医院 | |
| 佐藤内科クリニック | 浜武外科胃腸科クリニック | |

登録医の先生ご紹介



浦門整形外科医院

- 登録医名** 浦門 宏史
- 住 所** 〒815-0033 福岡市南区大橋1-17-13
- 電話番号** TEL 092-561-6451 FAX 092-561-6452
- 診療科** 整形外科・リハビリテーション科
- 診療日** 月火水金 9:00~12:00 14:00~19:00
木 9:00~13:00 土 9:00~15:00



当院は、西鉄大橋駅西口より徒歩3分の場所にあり、九州中央病院には、手術症例、MRIやCTの検査等で大変お世話になっております。

また術後のリハビリテーション・交通外傷等の逆紹介も多数頂き、大変お世話になっております。

今後ともよろしくお願い致します。



おおはらクリニック

- 登録医名** 大原 元太
- 住 所** 〒815-0033 福岡市南区大橋4-21-3
- 電話番号** TEL 092-552-4633
- 診療科** 循環器内科・内科・麻酔科
- 診療日** 月~土 9:00~12:30 14:00~18:00
(但し水曜日は午前のみ) 日・祝祭日・水曜午後は休診



当院は、循環器疾患と生活習慣病関連の病気を主に、内科一般の診療を行っています。丁寧なお話の聞き取りと、病状により、炎症反応、貧血の院内検査や、心臓・頸部・腹部の超音波検査、24時間心電図検査など専門的な検査まで迅速に対応しています。



皮膚科・アレルギー科 佐藤えみこクリニック

- 登録医名** 佐藤 恵実子
- 住 所** 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-10-23グレースイン赤坂4F
- 電話番号** TEL & FAX 092-715-6262
- 診療科** 皮膚科・アレルギー科
- 診療日** 月水金 9:30~13:00 15:00~18:00
(※初診の方の受付終了時間は17:30)
火 9:30~13:00 15:00~17:30
木土 9:30~13:00 午後は休診
日・祝日は休診



九州中央病院皮膚科に長年勤務の後、中央区赤坂で開業して来年で10年目を迎えます。皮膚科の先生方には、手術や入院が必要な患者さんを御紹介申し上げ大変お世話になっております。これからもよろしくお願いたします。

連携病院のご紹介



社会医療法人財団白十字会 白十字病院

登録医名 城崎 洋

住 所 〒819-8511 福岡市西区石丸3丁目2-1

電話番号 TEL 092-891-2511 (代表)
0120-19-8912 (患者様予約専用コールセンター)

社会医療法人財団白十字会 白十字病院 院長 城崎 洋

この度は、九州中央病院連携病院紹介の掲載の機会をいただき有難うございます。また、日頃より医療連携に対してご協力いただき、心から感謝申し上げます。

白十字病院は、1982年2月1日に医療法人白十字会の四番目の施設として、福岡市西区石丸の地に開設されました。開設当初は地域連携上の苦労があったようですが開業医の先生方の温かいご支援により次第に地域医療連携が充実してきました。白十字病院がここまで成長出来たのは、偏に、近隣の先生方をはじめとする地域の皆様方のおかげだと感謝申し上げます。

近年、医師不足や経営環境の厳しさから全国的に公的医療機関は縮小廃止され、この福岡市西部地区においても新たな公的病院の開設は望めない状態です。その様な状況を踏まえ、白十字病院は高い医療の質を確保しながら、救急医療体制を充実させ、退院後はデイサービス事業を通じて、高齢者や障害者の介護予防、自立支援、介護軽減に寄与し地域に貢献しなければならないと考え実践してきました。そして平成23年4月に社会医療法人財団白十字会となり公的医療機関に準ずる病院として心を新たにしたところです。

さらに、専門性を高めるために、高度な医療知識と技術の習得に努め脳神経センター、糖尿病センター、内視鏡センター、透析センターの他に、高度画像センター、胆石症センター、乳腺センター、総合リハビリテーションセンター等のセンター化構想を実現してきました。そして、福岡市西部地区にて年間約3000台の救急車を受入っており、さらに救急体制を充実させるため、平成23年11月に救急外来を改装致しました。

私たち白十字病院は、これからも「地域に根差した病院」、「頼りになる病院」を目指し、地域医療連携やチーム医療の推進に力を入れていき、安全、安心で質の高い医療サービスを提供していきます。これからもよろしくお願い申し上げます。



診 療 科 内科、糖尿病内科、脳・血管内科、神経内科、腎臓内科、人口透析内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、化学療法内科、老年内科、内分泌内科、内視鏡内科、放射線科、神経放射線科、放射線診断科、神経精神科、がん内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、内視鏡外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、眼科、麻酔科、がん外科、リハビリテーション科、臨床検査科、病理診断科、救急科、歯科、歯科口腔外科

病床構成 一般病床 219 床 / 亜急性期病床 25 床
回復期リハビリテーション病床 107 床 (内一般 55 床) / 療養病床 115 床
ホームページ : <http://www.hakujyukai.or.jp/hakujyuj/>

腎臓病の食事療法



今回は腎臓病の食事療法についてのお話です。

腎臓は、たんぱく質が体内で代謝・分解されて産生される窒素化合物などの老廃物や酸を尿中に排泄しています。また身体に必要以上に摂取された余分な水分や食塩を排泄しています。

したがって、食塩やたんぱく質をとりすぎて病気の腎臓に過剰な排泄という仕事の負担をかけすぎると、尿たんぱく量が増加し、腎臓病の進行が早まるおそれがあります。

身体を守り、しかも腎臓のはたらきを保持するには、必要な栄養をとり老廃物の出る食事をさけることが大切です。

■食事療法の意義

- ・腎機能低下の進行を抑えること
- ・体内の塩分、水分、カリウム、リンなどの量や濃度を正常に近く維持すること
- ・窒素化合物などの終末代謝産物（老廃物）による尿毒素が体内に蓄積するのを抑制すること
- ・健全な日常生活活動ができるような栄養状態を維持して長寿を目指すこと

■食事療法の基本

基本 1

たんぱく質の量や種類を腎臓の働きにあわせて調節します。

- ・・・たんぱくのとりすぎは腎臓に負担をかけます。

基本 2

必要なエネルギーをとります。

- ・・・エネルギー摂取量が少ないと、たんぱく質制限の効果がでないばかりか、次第に栄養状態や体力の低下を起こしてきます。したがって、たんぱく質を調節した分だけ炭水化物あるいは脂質を増やして全体のエネルギー摂取量を確保する必要があります。

基本 3

塩分を控えます。

- ・・・塩分の摂取量が多いと高血圧やむくみの原因となります。腎臓病により高血圧やむくみがあるときには塩分を控える必要があります。塩分は1日6g未満に控えましょう。

★当院の腎臓病食(1400kcal/日、たんぱく50g/日)の一例★

- ・主治医からのたんぱく質1日の指示量にあわせ、主菜(肉・魚・卵・豆腐)の分量を調整しています。
 - ・その分補助食品を付加し、全体のエネルギー量を増やしています。
- ※食事療法は医師の指示の下、行なってください。



タンパク質を抑え、エネルギーを確保するための工夫

- 卵類、魚介類、肉類は1日にとる目安量を決めておきましょう。(卵は1個まで、魚や肉は1食に1品まで、など)



- 砂糖をたくさん使っている菓子類の食べ過ぎをさけ、てんぷんや炭水化物を積極的に使しましょう。



- ※タンパクはご飯やパンなどにも入っているので、食べ過ぎには注意しましょう。

- 油を使った料理を献立に加えましょう。(揚げ物や炒め物、ドレッシングあえ、など)



- 間食を利用しましょう。



- お米やうどん、そばなどは、無タンパク、低タンパクに成分調整した食品を使いましょう。(はるさめなどのてんぷん製品、低タンパク米など)



- 高エネルギー補助食品を使いましょう。

- 少ないタンパク量でも、ボリューム感のある盛り付けで満足度をあげましょう。

- ※タンパクのとりすぎは、同時にその中に含まれるカリウムやリンの過剰摂取につながります。

塩分をへらすための工夫

- 塩分量の多い食品はひかえましょう。(漬物やつくだ煮、塩蔵食品、練り製品、肉加工品、インスタント食品、レトルト食品など)



- 醤油やソースなど塩分の濃い調味料はかけるより、つけるようにしましょう。



- レモンなどの柑橘類や酢、香辛料を活用しましょう。



- 1品に重点的に味を付けるなど、塩味にメリハリをつけましょう。



- 調味料は目分量をさけ、計量して使うようにしましょう。



怒心

「思いやり」

認定看護師紹介

がん化学療法看護認定看護師

外来化学療法室看護師 平井代恵

(シリーズ第2弾)



認定看護師とは日本看護協会が「高度化及び専門分化する保健、医療及び福祉の現場において、熟練した看護技術及び知識を必要とする看護分野として制度委員会が認めたもの」をいいます。その中で、がん化学療法看護認定看護師は、「がん化学療法薬の安全な取り扱いと投与管理」「副作用症状の緩和および、患者さんやご家族が副作用対策を行えるように支援を行う」ことを主な役割としている看護師です。

がん化学療法は、手術療法、放射線療法と共に、がんの3大治療と言われています。がん化学療法で用いられる薬剤は多種であり、それぞれの薬剤の特徴に応じたケアが必要になります。

私は2010年度にがん化学療法看護認定看護師の認定を受けました。普段は外来化学療法室に勤務しており、抗がん剤治療や生物学的製剤の点滴治療を受けている患者さんが安心して治療を受けられるように日々努めています。外来治療の場合、自宅で副作用が出現することが多いので、ご自身で対応できるように副作用の出現時期、予防法、対処法などの説明を行っています。

依頼があれば病棟へ赴き、スタッフが困っていることについて一緒に考えたり、がん化学療法看護に関する勉強会を行っています。

がん化学療法や生物学的製剤の治療は長期間になることが多く、不安な気持ちを抱えながら生活されている方が多くいらっしゃいます。患者さんやご家族が「安全・安心・安楽」に療養生活をおくることができるように、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った看護を提供していきたいと思っています。

患者さんやご家族が「その人らしい生活」を送れるように支えていきたいと考えています。
がん化学療法看護についてご質問があれば
お気軽に声をかけて下さい。



クリスマスコンサート

12月20日、外来ホールにて当院職員によるクリスマスコンサートを開催しました。たくさんの方々に集まっていただき、楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。お集まりいただいた皆様はもちろんのこと、ベッドでお過ごしになっている方や来られなかったすべてのの方々のご多幸を祈りながら、一緒に歌を歌わせていただきました。



～南警察署からのお知らせ～

生活安全課 防犯係 092-542-0110 (内線263)

110番

S素早く

O落ち着き

Sしっかりと

1月10日は
110番の日
です!



事件事故なら110番・相談ごとなら#9110

110番は緊急通報専用電話です

※ 相談などの緊急を要しない110番は、1分1秒を争う緊急な事件事故への対応を遅らせる原因となります。

警察に対する相談・要望などは

南警察署又は 警察相談専用電話 #9110

(ダイヤル電話からは092-641-9110)へお願いします。



福岡県内からの「110番」は、すべて県警本部の通信指令室につながります。

110番の受付と並行して警察署やパトカーなどに無線で連絡を行っています。

110番通報すると、受付と同時進行で無線連絡により警察官を現場に派遣していますので、落ち着いて対応の警察官の質問に教えてください。

電柱番号からも場所が分かります。

九電
安全

110
ア
1
2
3

110番した場合は、場所を正確に伝えることが大切です。

必ず市区町村名から教えてください。

場所を特定するために、地番を調べるか、分からなければ信号交差点名・バス停名・近くの店舗等目標になるものを知らせてください。

九州中央病院外来診療担当医表

◎新患もしくは再来 ○再来

| 科 | 専門分野 | 氏名 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 責任者 |
|----------------|-------|-------|-------------|-------|------|------------|------------|-----|
| 内科 | 総合内科 | 達川政文 | | ◎ | ○ | | 小川 | ● |
| | | 高山耕治 | ◎ | | | ○ | | |
| | 糖尿病内科 | 五島大祐 | ○ | | | ◎ | ○ | ● |
| | | 城台 環 | | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | 檜崎千恵 | ◎ | ○ | | | | |
| | 消化器内科 | 檜沢一興 | ◎ | | ○ | | | ● |
| | | 畑田鉄平 | | ○ | | | ◎ | |
| | | 工藤哲司 | | | ◎ | | ○ | |
| | | 貫陽一郎 | | ◎ | | ○ | | |
| | 循環器内科 | 富永光裕 | ○ | ○ | ◎ | | | ● |
| | | 大森 将 | | ○(午後) | | ○(午後) | | |
| | | 鎌山俊太郎 | ◎ | | | ○ | ○ | |
| | | 河野 修 | | | ○ | | | |
| | | 前淵大輔 | | | ○ | | ◎ | |
| | 脳血管内科 | 竹迫仁則 | | ○ | | ○ | ◎ | ● |
| | | 由比智裕 | ○ | | ◎ | | | |
| | 肝臓内科 | 東 晃一 | ○ | ○ | | ◎ | | ● |
| | 呼吸器内科 | 古藤 洋 | ○ | ○ | | ◎ | | ● |
| 中島信隆 | | | | ○ | | ◎ | | |
| 水田佑一 | | | ◎ | | | | | |
| 腎臓内科 | 水政 透 | | ◎ | | 九大 | | ● | |
| PD外来 | 水政 透 | | | 完全予約 | 完全予約 | | | |
| 心療内科・アレルギー科 | 十川 博 | 予約 | 予約 | 予約 | 予約 | 予約 | ● | |
| | 山城康嗣 | 予約 | 予約 | 予約 | 予約 | 予約 | | |
| 禁煙外来:月・水13~16時 | 十川 博 | 完全予約 | | 完全予約 | | | ● | |
| 精神科 | 精神科全般 | 非常勤 | ○ 14~17時 | | | ○ 9~17時 | ○ 9~13時 | |
| 外科 | 消化器外科 | 北村昌之 | ◎ | | | ○ | | ● |
| | | 椛島 章 | | | ○ | | ◎ | |
| | | 長谷川博文 | | ○ | | ◎ | | ● |
| | | 濱津隆之 | | ◎ | | | ○ | |
| | | 中村俊彦 | ○ | | ◎ | | | |
| | 二宮瑞樹 | ○ | | | ○ | | | |
| | 工藤健介 | | | ○ | | | | |
| | 呼吸器外科 | 牛島千衣 | | ○ | | | ○ | ● |
| 血管外科 | (九大) | | | | ○ | | | |
| 乳腺外科 | 乳腺外科 | 寺本成一 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ● |

| 科 | 専門分野 | 氏名 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 責任者 | |
|-------|---------------|---------|-------|-------|------|-------|--------|-----|---|
| 産婦人科 | 婦人科 | 有働俊啓 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ● | |
| 整形外科 | 脊椎・一般 | 有菌 剛 | ◎ | | ○ | | ◎ | ● | |
| | 関節外科・外傷・一般 | 嘉村聡志 | 紹介対応 | ◎ | | | | ● | |
| | 脊椎・一般 | 井口明彦 | | | ○ | ○ | 紹介対応 | | |
| | 関節外科・脊椎・外傷・一般 | 今村隆太 | | | 紹介対応 | | ◎ | | |
| | 膝・外傷・一般 | 濱田貴広 | ○ | 紹介対応 | | ○ | | | |
| | 関節外科・外傷・一般 | 大崎幹仁 | ◎ | | | 紹介対応 | | | |
| 形成外科 | 形成外科一般 | 西平智和 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 9:30まで | ● | |
| | 皮膚科一般 | 柴田智子 | ◎ | 11時まで | ◎ | 手術 | ◎ | ● | |
| 皮膚科 | 皮膚科一般 | 山村和彦 | ◎ | 11時まで | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | | 河原紗穂 | ◎ | 11時まで | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | | 関 成人 | ◎ | ◎ | ◎ | 手術 | ◎ | ● | |
| 泌尿器科 | 泌尿器科一般 | 李 賢 | ◎ | ◎ | ◎ | 手術 | ◎ | | |
| | | 長谷川裕平 | 11時まで | ◎ | ◎ | 11時まで | ◎ | ● | |
| 眼科 | 眼科一般 | 中間崇仁 | 11時まで | ◎ | ◎ | 11時まで | ◎ | | |
| | | 澤津橋基広 | ◎ | (九大) | ◎ | ◎ | 11時まで | ● | |
| 耳鼻咽喉科 | 耳鼻咽喉科一般 | 吉川沙耶花 | ◎ | (九大) | ◎ | ◎ | 11時まで | | |
| | | 松本健一 | ◎ | ◎ | ◎ | | 手術 | ● | |
| 脳神経外科 | 脳神経外科一般 | 空閑太亮 | | | | ◎ | 手術 | | |
| | | 放射線診断一般 | 花田清彦 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ● |
| 放射線科 | 血管造影・IVR | 三浦亘智 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| | | 放射線診断一般 | 増田杏奈 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | 八島典子 | ◎ | | | | ◎ | ● | |
| 麻酔科 | 麻酔・ペインクリニック | 堀之内康文 | 予約 | 予約 | (九大) | 予約 | 予約 | ● | |
| | | 小野田慈美 | 予約 | 予約 | (九大) | 予約 | 予約 | | |
| | | 星野亜紀 | 予約 | 予約 | (九大) | 予約 | 予約 | | |

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------|----|------|----|-----|
| 腹部エコー | 三浦 | 花田 | 三浦 | 花田 | 花田 |
| 胃透視 | 工藤・平田 | 花田 | 畑田 | 檜沢 | 貫 |
| 内視鏡 | 貫 | 檜沢 | 貫 | 工藤 | 檜沢 |
| | 畑田 | 工藤 | 平田 | 畑田 | 平田 |
| | | 平田 | (畑田) | | (貫) |

(平成24年2月1日現在) 変更の可能性があります。

■ 一般新患・再来の受付時間 8:30~11:00

■ 紹介状ご持参の方 8:30~12:00 (下記以外)

| | |
|------------------|------------|
| 形成外科:金曜日 | 8:30~9:30 |
| ペインクリニック:月曜日・金曜日 | 8:30~10:30 |
| 耳鼻咽喉科:火曜日・金曜日 | 8:30~11:00 |
| 皮膚科:火曜日 | 8:30~11:00 |
| 眼科:月曜日・木曜日 | 8:30~11:00 |

■ 時間外の受付

時間外・夜間・土曜・日曜・祝祭日ならびに年未年始(12/29~1/3)は、救急外来で対応致します。

地域医療連携室への連絡 (医療機関からのみ)

代表電話 (092) 541-4936

TEL(フリーダイヤル) 0120-541-995(直通)

FAX(フリーダイヤル) 0120-541-990(直通)

ホームページ <http://kyushu-ctr-hsp.com/>

〒815-8588
福岡市南区塩原三丁目23番1号
公立学校共済組合九州中央病院
病院長 飯田 三雄

A 外来受診・入院・緊急入院の受付

平日(時間内)

・地域医療連携室受付

時間外・土・日・祝祭日の緊急受診と緊急入院

・時間外受付……………代表電話

B 歯科口腔外科の受付

平日(時間内)

歯科口腔外科予約・フリーダイヤル 0120-541-998

C 検査依頼の受付(平日)8:30~17:00

放射線科検査 CT・MRI・RI・骨密度・内視鏡・超音波

・検査受付…フリーダイヤル 0120-541-996

D 心療内科・アレルギー科/禁煙外来

・心療内科・アレルギー科・代表(内線2214)

新年を迎え新しい1年がスタートしました。

2012年は皆様が平穏無事な生活を送れることができますよう願っております。

今年もまた内容の充実を図れるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますので1年よろしくお願致します。

広報誌編集委員会



九州中央病院広報誌「きなざっせ」第52号

編集: 広報誌編集委員会発行: 飯田三雄

URL: <http://kyushu-ctr-hsp.com>